
《1》 南海トラフと「夢洲」の安全性について

人工島である夢洲は、南海トラフ地震の際の孤立のリスクも含めた慎重な安全性検証が必要です。国民民主党は、南海トラフ地震のような大規模災害は国家的リスクであると考えています。自治体のみに対策を任せきりにするのではなく、国が責任を持つ形で災害対策を進めることが重要です。

《2》 大阪スマートシティについて

スマートシティは、暮らしを便利にする一方で、誰ひとり取り残さない設計が不可欠です。国民民主党は「人にやさしいデジタル社会」を掲げていますが、デジタル化の目標のみが先行することのないよう、利用者の観点からの仕組みづくりが重要です。

《3》 大阪・関西万博について

関西万博の安全かつ円滑な開催を願っています。一方で、事業費の膨張や会場整備の遅れには批判も根強く、今後、経済効果や事業の進め方、費用負担のあり方についての検証が不可欠です。

《4》 IR・カジノについて

統合型リゾートによる経済への波及効果は期待していますが、それが一部のみに独占されることなく、地元還元されるものでなければなりません。また、カジノについては国民民主党の求める「ギャンブル依存症対策」が十分になされるかなど、慎重な見極めが必要です。

《5》 国際物流拠点・「夢洲」の重要性について

大阪には世界に誇る中小企業やものづくりの力があります。国民民主党は、大阪の強みを世界に発信し、アジアをつなぐビジネス拠点としての成長を後押しします。万博後の夢洲の活用方法は、ご提案の物流拠点としての活用も含め、安全性や環境負荷・将来性など多角的な観点から検討が必要です。

《6》 国際観光都市・大阪構想について

大阪の豊かな歴史や文化は、国際観光都市としての大きな資産です。持続可能な観光と地域共生を軸に、インフラ整備や受入環境の充実を進めます。地域経済の活性化と住民の生活の安定を両立させる観光政策をめざします。